

## 2018年度事業計画(2018年4月1日～2019年3月31日)

2018年度は、昨年開催した「OLIS 創立 50 周年記念生命保険シンポジウム」を受けて、アジア各国から財団に対する期待が高まるなか、新たな半世紀開始の年である。アジア各国の生命保険関係者を招いて開催する東京セミナーは、定員を大幅に超える応募を毎回得ている。また、海外現地セミナーも年 2 ないし 3 回のペースで継続しており、毎回多くの関係者に参加頂いている。

国内においても、保険フォーラムや寄附講座、さらには奨学事業を通して財団の名は着実に普及してきているので、今後もこれらの活動を継続して行きたい。

### (1) 研修事業

#### ① アジア諸国・地域での海外現地セミナー

海外現地セミナーについては、3 か国での開催を計画している。

対象候補国は、インドネシア、マレーシアの 2 か国と、毎年開催要請のある中国か台湾のどちらかでの開催を基本とする。特に、2018 年は日本インドネシア国交樹立 60 周年に当たり、その記念事業として現地セミナーを開催すべく検討する。

#### ② 国内セミナー

東京セミナーは、春秋 2 回開催する。

セミナー名	開催時期	募集人数
OLIS 2018 Spring	2018 年 5 月 24 日～29 日	40 名
OLIS 2018 Autumn	2018 年 10 月 25 日～30 日	40 名

春セミナーのテーマは「チャンネル別営業戦略(案)」で、販売チャンネルごとの営業戦略や販売モデルについて、各分野の専門家に講義してもらう。

#### ③ セミナー参加者への渡航費支援

セミナーに社員・職員の派遣を希望しながら渡航費用の負担が困難な機関のために、費用を支援する「セミナー等参加渡航費の支援制度」は、途上国からの参加希望に応えるよう継続して実施する。

### (2) 教育振興事業

#### ① 生命保険寄附講座

プルデンシャル生命及びジブラルタ生命の協賛を仰いでいる慶應義塾大学の寄附講座「OLIS・プルデンシャル・ジブラルタ 生命保険寄附講座」は、4 月より 9 年目(3 年講座期間の第 3 ターム 3 年目)を開講する。

また、2014 年度から開設している中央大学理工学部の寄附講座も 4 月より 5 年目(3 年講座期間の第 2 ターム 2 年目)を開講する。

#### ② 保険フォーラム

各大学に認知され開催要望が増えていることから、2018 年度においても早稲田大学(2 回目)、明治大学(2 回目)、名古屋大学(初)、奈良女子大学(初)の 4 大学で開催する計画である。

(3) 奨学制度

① タイ生命保険協会奨学制度

前年度と同規模で「タイ生命保険協会奨学制度」に継続して協賛し、奨学金を給費する。

② 東日本大震災被災学生奨学金

震災による被災が原因で経済的に困窮し修学継続が困難となった優秀な学生に対して前年度給費した奨学金を継続することとし、新規募集は行わない。

(4) 広報・出版事業

① 論文・書籍・情報の翻訳、紹介

毎年、アジア諸国・地域の生命保険事業の発展に有益と思われる論文・書籍・データを翻訳して提供している。2018 年度は、現在対象書籍を選定中である。

② 財団紹介パンフレットの更新

財団の事業活動や実績などを広く知ってもらうためのパンフレット「INFINITY」(日本語版、英語版)について、直近の事業活動状況を反映させた更新版を作成する。

③ ホームページの活用

アジア諸国・地域と相互に活発な情報交換ができるホームページ構築に 2018 年度も引き続き努める。

④ 「日本の生保事情」の発信

日本の生命保険事情をアジア各国に知ってもらい、自国の生命保険事業振興の参考としてもらうため、「日本の生保事情」を財団ホームページに引き続き掲載する。

(5) 運営委員会の継続設置

財団の事業活動について検討をする目的で、財団理事長の諮問委員会として運営委員会を継続設置する。

(6) 管理部門

超低金利が続き運用収益が漸減する環境下にあるため、管理部門のさらなる経費節減に努める。